簡易セキュリティチェックシート

― 警察庁「令和 8 年上半期 サイバー空間をめぐる脅威の情勢」・IPA「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」対応 ―

組織名		**記入日**	年　　月　　日
部署・役職		**記入者**	

1. このシートの目的と使い方

本シートは、中小企業・団体が自組織のセキュリティ対策状況を約 10 分で自己点検するための簡易版です。設問は、警察庁が 2026 年 9 月に公表した最新の脅威情勢と、IPA が 2026 年 1 月に発表した「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」で上位に挙がった脅威、および両機関が公開しているチェックシート（IPA「5 分でできる！情報セキュリティ自社診断」、警察庁「サイバーセキュリティ対策チェックリスト」等）を参考に作成しています。

各設問について、現在の状況に最も近いものを 1 つ選び、チェックボックス（☐）をクリックまたは記入してください。

- 十分に対策している：ルール・仕組みがあり、定期的に実施・確認している
- 対策している：ルールや仕組みはあるが、実施状況の確認や見直しは不定期
- 気にしていない：対策の必要性を認識しておらず、特に何もしていない
- 不安がある：必要性は感じているが、何をすべきか分からない／手が回っていない

※本シートは公開統計を基に作成した自己点検用の簡易版であり、各機関の公式チェックシートや診断に代わるものではありません。詳細な診断は上記ガイドラインや専門家にご相談ください。

2. 最新統計から見る脅威の現状（2026 年）

- ランサムウェア被害報告：令和 8 年上半期 123 件（半期として統計開始以来最多）。中小企業 79 件・大企業 31 件・団体等 13 件。製造業 37 件が最多。
- 侵入経路：VPN 機器が約 5 割。復旧費用 1,000 万円以上が約 6 割、1 か月未満で復旧できたのは 5 割弱。
- 不審アクセス：1 日・1IP アドレス当たり 13,687 件（前年同期比 50.7%増）。
- IPA 10 大脅威 2026 組織編：1 位ランサム攻撃、2 位サプライチェーン攻撃、3 位 AI 利用をめぐるサイバーリスク（初選出）、4 位システムの脆弱性悪用、5 位標的型攻撃、6 位地政学的リスク、7 位内部不正、8 位リモートワーク環境、9 位 DDoS、10 位ビジネスメール詐欺。

3. チェック項目（全 10 問）

No.	チェック項目（設問）	現在の対策状況（1 つ選択）
1	**【ランサムウェア】** 重要データのバックアップを定期的に取得し、ネットワークから切り離した場所（オフライン・別系統）に保管して、復元できることを確認している。 参考：警察庁：令和 8 年上半期のランサムウェア被害報告は 123 件で半期として過去最多。復旧に 1,000 万円以上を要した組織が約 6 割、1 か月未満で復旧できた組織は 5 割弱。／IPA 10 大脅威 2026 組織編 1 位	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
2	**【VPN・リモート接続】** VPN 機器やリモートデスクトップは常に最新のファームウェアに更新し、不要なものは停止、必要なものは多要素認証やアクセス元制限を設けている。 参考：警察庁：ランサムウェア被害組織の侵入経路は VPN 機器が約 5 割で最多。政府共通基盤（GSS）でも VPN 脆弱性が侵入口に。／IPA 10 大脅威 2026 組織編 8 位「リモートワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃」	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
3	**【脆弱性・更新管理】** OS・業務ソフト・ネットワーク機器のセキュリティ更新を、公開後速やかに（目安：重要なものは数日以内）適用する手順と担当者が決まっている。 参考：警察庁：脆弱性探索などの不審アクセスは 1 日・1IP アドレス当たり 13,687 件（前年同期比 50.7%増）。／IPA 10 大脅威 2026 組織編 4 位「システムの脆弱性を悪用した攻撃」	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
4	**【認証・ID 管理】** クラウドサービスや社内システムで多要素認証（MFA）を有効にし、推測されにくいパスワードの使い回し禁止を徹底している。 参考：IPA 10 大脅威 2026 個人編「インターネット上のサービスへの不正ログイン」11 年連続選出、「インターネットバンキングの不正利用」が 4 年ぶりに再選出。／警察庁：インターネット利用犯罪の認知件数 30,838 件（前年同期比 30%増）	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
5	**【サプライチェーン】** 取引先・委託先・利用クラウドサービスのセキュリティ対策状況を確認し、契約や覚書で情報の取扱いと事故時の連絡ルールを定めている。 参考：IPA 10 大脅威 2026 組織編 2 位「サプライチェーンや委託先を狙った攻撃」（8 年連続）。2025 年も取引先を含むサプライチェーン全体に影響した事例が発生。	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある

No.	チェック項目（設問）	現在の対策状況（1 つ選択）
6	**【生成 AI 利用】** 生成 AI の業務利用について、機密情報・個人情報を入力しない、出力内容を検証するなどのルールを定め、従業員に周知している。 参考：IPA 10 大脅威 2026 組織編 3 位「AI の利用をめぐるサイバーリスク」が初選出。意図しない情報漏えい、生成結果の鵜呑み、AI 悪用による攻撃の巧妙化が懸念。／警察庁も高性能 AI の攻撃利用リスクを指摘	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
7	**【標的型・フィッシング】** 不審メール・SMS・偽サイトの見分け方と報告先を従業員に教育し、添付ファイル・リンクの取扱いルールや訓練（模擬メール等）を実施している。 参考：警察庁：サイバー特別捜査部が約 36 万件のフィッシングメールを分析、送信元は短期間で使い捨てられる傾向。／IPA 10 大脅威 2026 組織編 5 位「機密情報を狙った標的型攻撃」、個人編「フィッシングによる個人情報等の詐取」	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
8	**【内部不正・権限管理】** アクセス権限は業務に必要な最小限に設定し、退職・異動時にアカウントを速やかに停止し、重要システムの操作ログを保管・確認している。 参考：IPA 10 大脅威 2026 組織編 7 位「内部不正による情報漏えい等」（11 年連続）。2026 年のさくらインターネット事案では初期パスワードの平文保存やログ管理不備が指摘された。	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
9	**【ビジネスメール詐欺】** 振込先変更や急ぎの送金依頼は、メール以外の手段（電話等）で必ず相手に確認し、複数人の承認を経る手順になっている。 参考：IPA 10 大脅威 2026 組織編 10 位「ビジネスメール詐欺」（9 年連続）。／警察庁：ニセ社長詐欺、インターネットバンキング不正送金等を含むインターネット利用犯罪が 30%増。	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある
10	**【インシデント対応】** サイバー攻撃を受けた際の初動手順（ネットワーク遮断、報告先、警察・IPA への相談、関係者への連絡）を文書化し、年 1 回以上見直している。 参考：警察庁：被害が長期化・高額化する傾向。各都道府県警察にサイバー犯罪相談窓口を設置。／IPA：情報セキュリティ安心相談窓口、J-CRAT（標的型攻撃対応）。DDoS 攻撃（組織編 9 位）も含め事前準備が重要。	☐ 十分に対策している ☐ 対策している ☐ 気にしていない ☐ 不安がある

4. 集計と評価

チェックした個数を数えて点数化し、合計点（30 点満点）で現状を把握してください。

回答	配点	集計
十分に対策している	3 点	個 × 3 = 点
対策している	2 点	個 × 2 = 点
不安がある	1 点	個 × 1 = 点
気にしていない	0 点	個 × 0 = 点
合計		**／30 点**

合計点	評価の目安
25〜30 点	基本的な対策が定着しています。「対策している」の項目を「十分に対策している」へ引き上げ、定期的な見直しを継続してください。
15〜24 点	一部に弱点があります。「不安がある」「気にしていない」とした項目から優先的に改善計画を立ててください。特に No.1〜3（ランサムウェア・VPN・更新管理）は侵入経路の大半を占めます。
14 点以下	被害に遭うリスクが高い状態です。IPA「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」や SECURITY ACTION（一つ星）の取組から着手し、専門家や所轄警察のサイバー犯罪相談窓口への相談を検討してください。

5. 改善に向けたメモ

「不安がある」「気にしていない」とした設問番号と、次に取り組むことを記入してください。

設問 No.	取り組む内容	担当・期限

6. 参考資料・相談先

- 警察庁「令和 8 年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」（2026 年 9 月 10 日公表）
  https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/
- IPA「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」（2026 年 1 月 29 日公表、解説書・対策マッピングシート）
  https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2026.html
- IPA「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」「5 分でできる！情報セキュリティ自社診断」「SECURITY ACTION」
- 相談先：各都道府県警察 サイバー犯罪相談窓口（#9110）／IPA 情報セキュリティ安心相談窓口／J-CRAT（標的型攻撃）／JPCERT/CC